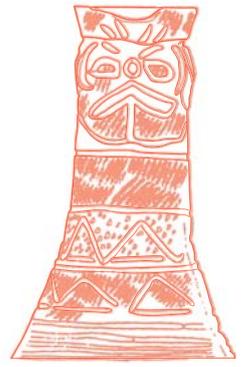


上敷免森下遺跡（第2次）発掘調査

[調査期間] 平成24年1月～継続中

[調査面積] 約5000㎡

[調査機関] 深谷市教育委員会



人面付土器(上敷免遺跡)

今回の発掘でわかったこと！



弥生時代の住居跡

・弥生時代のこと

- ① 弥生時代の始まりの頃の土器や石器が発見されています。
- ② 弥生時代の人々が住んでいた住居跡が発見されました。
- ③ 狩に使った矢じり（石ぞく）が出土しました。

・古墳時代のこと

- ① 古墳時代の人々が住んでいた住居跡が12軒発掘されました。
- ② 階段状遺構を持つ深い溝が発見されています。
- ③ 深い弧状の溝が発見されました。（調査中です）



矢じり（石鏃）

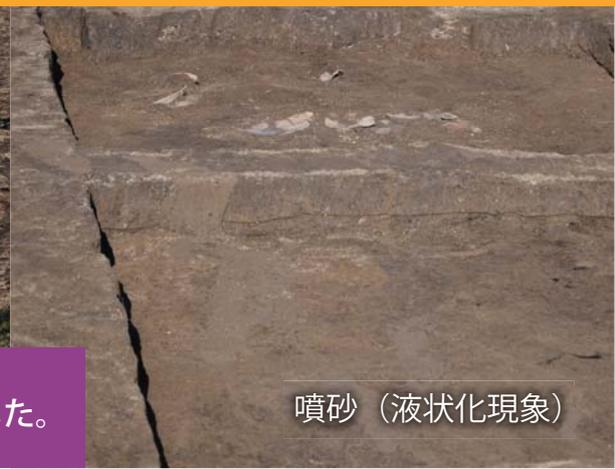
・奈良・平安時代のこと

- ① 奈良・平安時代の人々が住んでいた住居跡が見つかりました。
- ② 祭祀を行った跡が見つかりました。



古墳時代の住居跡

・平安時代に起きた地震の痕が見つかりました。



噴砂（液状化現象）

上敷免森下遺跡遺構図 1/650

